

Wikiprint Book

Title: Trac の reStructuredText 対応

Subject: SilverFrost - WikiRestructuredText

Version: 3

Date: 12/20/25 13:29:58

SilverFrost 目次

Trac での reStructuredText 対応	3
必須条件	3
さらなる RST に関する情報	3
RST を Trac で使用する	3
reStructuredText における TracLinks	3
reStructuredText におけるシンタックスハイライト	3
reStructuredText の中における Wiki Macros	4
Wiki Macros の例	4
2012/10/20	4
より大きい ReST の例	4
ほげほげヘッダ	5
RST での TracLinks	5

Trac での reStructuredText 対応

Trac は [WikiFormatting](#) を使用できるすべての箇所で、 Wiki マークアップの代わりに reStructuredText を使用することができます。

reStructuredText の Web ページより：

"reStructuredText は読みやすく、 WYSIWYG なプレーンテキストへのマークアップ文法と、そのパーサシステムです。 (Python の docstring のような) プログラムへのインラインドキュメンテーションや、シンプルな Web ページの素早い作成、スタンダードのドキュメントの記述に役立ちます。 reStructuredText は個別のアプリケーション向けに拡張ができるように設計されています。"

必須条件

Trac で RST を使うためには、 Python の docutils パッケージがインストールされていなければなりません。
あなたのオペレーティングシステムでまだ使用できない場合は、 [RST Website](#) からダウンロードすることができます。

さらなる RST に関する情報

- reStructuredText Web サイト -- <http://docutils.sourceforge.net/rst.html>
- RST クイックリファレンス -- <http://docutils.sourceforge.net/docs/rst/quickref.html>

RST を Trac で使用する

テキストブロックが RST でパースされるようにするには、 rst プロセッサを使用してください。

reStructuredText における [TracLinks](#)

- Trac は RST テキストの中で [TracLinks](#) が可能になる、 RST のリファレンスディレクトリ 'trac' を提供しています。

例：

```
{{{#!rst
This is a reference to |a ticket|
.. |a ticket| trac:: #42
}}}
```

trac ディレクトリのすべての使用例の一覧は、 [WikiRestructuredTextLinks](#) を見てください。

- Trac は RST で [TracLinks](#) を簡単に作成できるように、 :trac: という名前 (naming scheme) を予約しています。

例：

```
{{{#!rst
This is a reference to ticket `#12`:trac:

To learn how to use Trac, see `TracGuide`:trac:
}}}
```

reStructuredText におけるシンタックスハイライト

同様に、 RST において [TracSyntaxColoring](#) を行なうディレクトリがあります。 ディレクトリは code-block と呼ばれます。

例

```
{{{#!rst
```

```
.. code-block:: python

class Test:

    def TestFunction(self):
        pass

}}}
```

上記の例は以下のように見えます。

```
class Test:
    def TestFunction(self):
        pass
```

reStructuredText の中における Wiki Macros

[Wiki マクロ](#) を ReST の中で使用するには、例えば code-block のようなシンタックスハイライトと同様のディレクティブを使用します。動作させるためには [#801](#) のパッチ適用をした Trac を使用しなければなりません。

Wiki Macros の例

```
{{{

#!rst

.. code-block:: RecentChanges

Trac,3

}}}
```

この結果は以下のようになります:

2012/10/20

- [TracIni \(diff\)](#)
- [TracRepositoryAdmin \(diff\)](#)
- [TracSearch \(diff\)](#)

より簡素な構文でも Wiki マクロを利用できます:

```
{{{

#!rst

:code-block:`RecentChanges:Trac,3`


}}}
```

より大きい ReST の例

この例のように書くと、とても分かりやすくなります:

```
{{{

#!rst
=====
reStructuredText ■ **■** ■■■■■ webpage_ ■■

■:
==  ==  =====
```

結果：

ほげほげヘッダ

reStructuredText は 素敵。この続きは [webpage](#) で。

表:

入力		出力
A	B	A or B
偽	偽	偽
真	偽	真
偽	真	真
真	真	真

RST での TracLinks

チケット #42 のように使用します。

訳注：日本語でテーブルを作成する場合、Python-2.4 以降かつ docutils-0.4 以降でない場合は、docutils に日本語テーブルパッチを適用する必要があります。

See also: [WikiRestructuredTextLinks](#), [WikiProcessors](#), [WikiFormatting](#)